



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp

テレマティクス自動車保険のご契約台数が 200 万台突破！

2025年3月17日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、テレマティクス自動車保険のご契約台数が 200 万台^{※1} を突破したことをお知らせします。

※1 2025年3月17日時点のご契約台数

1. これまでの取り組み

当社は「CSV×DX」の考えのもと、先進技術を活用したテレマティクス自動車保険の開発・販売を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決に取り組んできました。

テレマティクス自動車保険では、お客さまの安全運転の度合いを「安全運転スコア」として評価し、保険料を割引くインセンティブの提供、また一人ひとりの運転特性に応じた改善点をアドバイスする「運転診断レポート」や走行データに基づくリアルタイムの「安全運転支援アラート」など、事故の未然防止につながる機能・サービスを提供しています。

また、これらのサービスによりドライバーの安全運転意識がさらに高まることから、当社のほかの自動車保険に比べて事故の発生頻度が約 16% 低減しています。

さらに、走行データ等を活用した事故対応システム「テレマティクス損害サービスシステム^{※2}」により、事故の早期解決も実現しており、お客さまの満足度向上にもつながっています。

こうした取り組みが多くのお客さまからご支持いただいた結果、今般、テレマティクス自動車保険のご契約台数が 200 万台に達しました。

※2 ドラレコ映像・位置情報・加速度等の各種データを活用したAIによる事故検知、事故状況把握、相手車両速度解析、過失判定を行う最先端の事故対応サービス

< 当社のテレマティクス自動車保険とそれ以外の自動車保険の比較 >

事故頻度	▲16%	事故解決日数 ^{※3}	▲16.4日	契約総合満足度 ^{※4}	+10.4pt
------	------	----------------------	--------	-----------------------	---------

※3 「タフ・見守るクルマの保険プラス（ドラレコ型）」と、一部の商品を除く当社の他の自動車保険との比較です。

双方に責任割合が発生する対物賠償保険事故の解決所要日数（2020年1月～2024年3月発生事故）をいいます。（2024年3月時点）

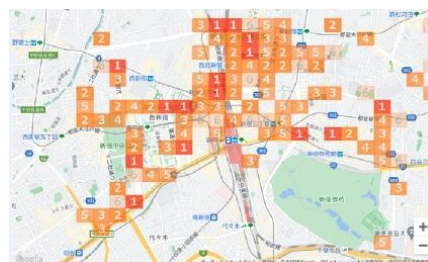
※4 「タフ・見守るクルマの保険プラス（ドラレコ型）」と、一部の商品を除く当社の他の自動車保険との比較です。ご契約に関するアンケートで「満足」と回答いただいた割合をいいます。（2023年度あいおいニッセイ同和損保の調査）

2. お客さまと“ともに”創り上げてきたテレマティクス自動車保険の価値

テレマティクス自動車保険は、お客さまの安全運転を支援するだけでなく、200万台のご契約を通じて、社会・地域課題の解決につながるさまざまな活動に役立っています。

(1) 地域の交通課題を解決

ご契約のお車の走行データ等を活用し、急ブレーキなど危険挙動の多い地点を可視化する「交通安全マップ」や、路面の損傷箇所を可視化し道路維持管理業務を支援する「路面状況把握システム」などを開発・提供し、安全な町づくりに貢献しています。福井県では、自治体等と連携し「交通安全マップ」を交通安全対策やデジタル人材（財）育成にも活用することで、ゾーン30エリア指定にも役立てています。



「交通安全マップ」イメージ

(2) CO₂排出量の削減

安全運転スコアの向上を意識した運転は、急ブレーキ・急発進の発生を抑制し、エコドライブの実現につながります。さらにエコドライブに取り組んでいただくことは、燃費向上につながり、地域社会全体から CO₂ 排出量を削減します。お客様の安全運転により削減した CO₂ 排出量は、2023 年 10 月から 2024 年 12 月の間で約 7 万 5 千トンにのびります。お客様一人ひとりの安全運転による CO₂ 排出量削減により、「環境保全」という新たな価値を創出し、社会課題の解決に一層貢献していきます。



(3) 世界中の人々の救済を支援

安全運転につながる取り組みでポイントが貯まるサービス「AD テレマイレージ」では、貯まったポイントを寄付として活用可能です。「令和 6 年能登半島地震災害義援金」では、これまで延べ約 1 万人のお客様に寄付のご協力をいただきました。



3. 今後の展開

2025 年 1 月には、フリート契約者向けにスマートフォン単体で、ナビ機能および各種サービスを提供するテレマティクス自動車保険「フリート Next」を発売し、法人領域における事故低減取組も強化しています。また、個人向けテレマティクス自動車保険においても、より楽しみながら安全運転に取り組んでいただくための機能・サービスの更なる魅力増しを実施します。

今後もデータ・デジタル技術を活用し、保険による新たな価値の創出・提供を通じて、事故のない安全・安心な地域・社会の実現を目指します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX を通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

